FUJIFILM

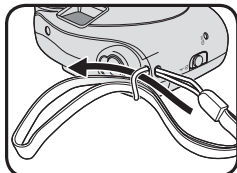
CLEAR SHOT u

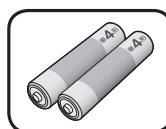
ストラップ取り付け部
ファインダー窓
赤目軽減/シャッター予告ランプ
フラッシュ発光部
フラッシュスイッチ
撮影レンズ/レンズカバー
レンズカバー開放つまみ
途中巻き戻しボタン

フィルムカウンター
シャッターボタン
フラッシュ発光OKランプ

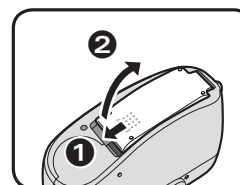
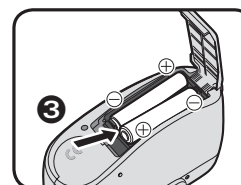
FILM TIPマーク
裏ぶた
フィルム確認窓
ファインダー接眼部
スプロケット
スプール
電池ぶた
フィルム室
裏ぶた開放つまみ

1 ストラップの取り付け

✕ 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

2 電池を入れる

■ 使用する電池
単4形アルカリ乾電池2本

＊ 必ず2本とも新しい、同じ銘柄・種類のものを使用してください。
＊ Ni-Cd電池は使用しないでください。
＊ アルカリ乾電池では約200コマ撮影できます(当社試験条件による)。
＊ 旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご使用ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
＊ 気温が低いときには電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからご使用ください。

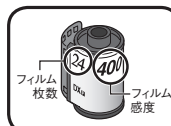
フラッシュ発光OKランプが点灯するのに10秒以上かかる場合は電池を交換してください。

電池ぶたを開けます

電池を入れます

電池ぶたを閉めます

✕ 必ず先に電池を入れてからフィルムを入れてください。

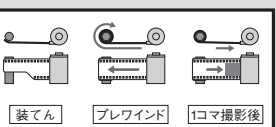
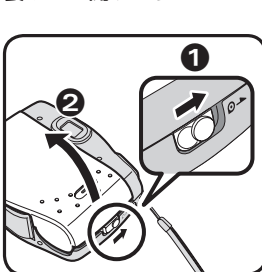
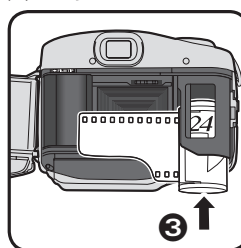
3 フィルムを入れる

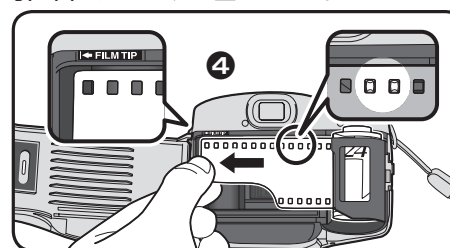
フィルムを入れるときにはレンズカバーを閉めてください。

■ 使用するフィルム
35mmネガフィルム
ISO 100、200、400、800

✕ 電池を入れる前にフィルムを入れないでください。

✕ フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
✕ 撮影途中のフィルムが入っているときには絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は、「6 撮影途中でフィルムを取り出すには」をご参照ください。

● 本機は、フィルムを装てんしたらフィルムをスプールにすべて巻き付け、撮影されたフィルムをパトローネに巻き込んでいく「プレワインディング方式」を採用しています。

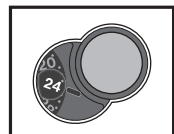
装てん　プレワインド　1コマ撮影後

裏ぶたを開けます

フィルムをゆっくり入れます

＊ フィルムが奥まで入らないときは入れ直してください。

フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出し、スプールの上にのせます

＊ スプロケットとフィルムの穴がかみ合っていることを確認してください。
＊ フィルムの先端がスプールの上にのっていることを確認してください。
＊ フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して、長さを調節してください。
✕ フィルムカウンターが誤表示されるため、スプロケットに触らないでください。

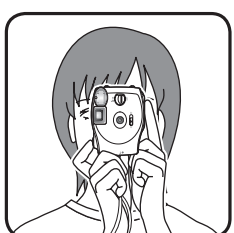
裏ぶたを閉めます

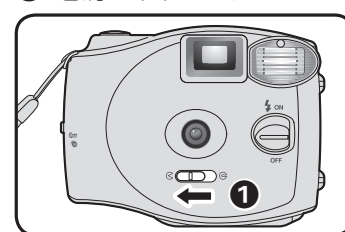
☞ フィルムが自動的に送られます。

＊ フィルムを装てんして裏ぶたを閉め、プレワインド～1コマ目にセットするのに約20秒かかります(24枚フィルム使用時)。
＊ フィルム確認窓からフィルムの在否を確認できます。

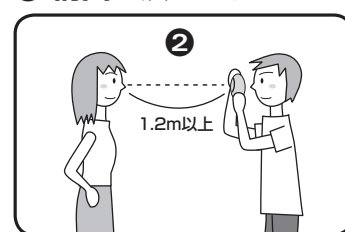
CHECK!
フィルムカウンターにフィルムの撮影可能枚数が表示されていることを確認します。

✕ フィルムが正しく装てんされていないと、フィルムカウンターは"E"のままで、シャッターが切れません。撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。
＊ 電池容量がなくなっている場合、フィルムの規定枚数まで送られないことがありますので、ご注意ください。

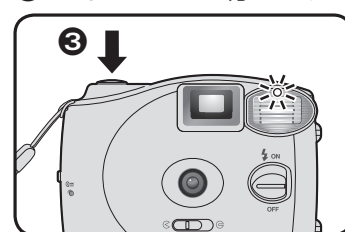
4 撮影しよう

カメラの構え方

✕ レンズやフラッシュ発光部に指やストラップが掛からないようにご注意ください。

❶ 電源を入れます

レンズカバー開放つまみを◁方向にスライドします。

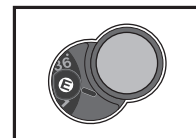
＊ 撮影前にレンズ部分の保護シールを取り外してください。

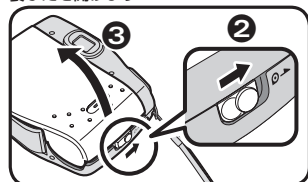
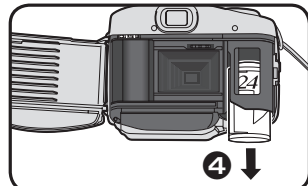
❷ 構図を決めます

被写体から1.2m以上離れてファインダーをのぞきます。

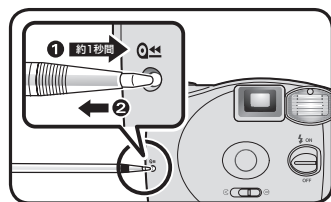
❸ シャッターを切ります

構図が決まったら、シャッターボタンを押します。
☞ シャッター予告ランプが点灯します。
☞ 撮影後、フィルムが次のコマまで送られます。
☞ フィルムカウンターは減算表示されます。
＊ 続けて撮影しない場合は、レンズカバーを閉めてください。

5 フィルムを取り出す

❶ 最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。
☞ 巻き戻しが完了すると、フィルムカウンターに"E"が表示されます。

CHECK!
必ずモーターが止まり"E"が表示されたことを確認してください。

"E"が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、次のような恐れがありますのでご注意ください。
● フィルムが感光する。
● 次のフィルムを入れたときにすぐに巻き戻されてしまい、"E"が表示される。

裏ぶたを開けます

フィルムを取り出します

6 撮影途中でフィルムを取り出すには

レンズカバーを閉め、❶ ボタンを約1秒間押します。
☞ ❷離すと、巻き戻しが開始されます。
☞ 巻き戻しが完了すると、フィルムカウンターに"E"が表示されます。

必ずモーターが止まり"E"が表示されたことを確認してからフィルムを取り出してください。
✕ 巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外はボタンを押さないでください。
＊ ボタンは先端のとがったもので押さないでください。

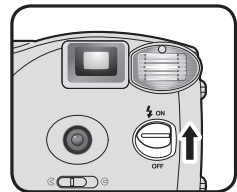
カメラにフィルムが入っているときのご注意

フィルムが入っているときは、絶対に裏ぶたを開けないでください。
☞ フィルムが入っているときに裏ぶたを開けてしまったら、そのまま裏ぶたを閉めてください。
＊ 裏ぶたを閉めると、自動的にフィルムが巻き戻され、"E"が表示されます。
＊ 巻き戻されたフィルムは再撮影できません。

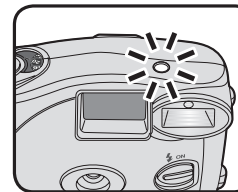
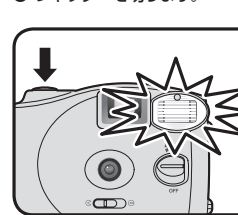
★ ただし、本機はプレワインディング方式を採用しているため、最後に撮影した1コマ以外は光カブリから守られています。

7 フラッシュ撮影(室内・曇天時・日陰・夜間・逆光での撮影)

❶ フラッシュスイッチを ON に合わせます。

❷ フラッシュ発光OKランプが点灯していることを確認します。

❸ シャッターを切ります。

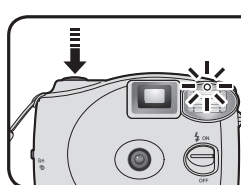
✕ フラッシュスイッチを ONに合わせたまま放置すると、電池が消耗します。すぐにフラッシュ撮影しないときはフラッシュスイッチを戻してください。

フラッシュ発光OKランプが点灯するまでに10秒以上かかる場合は、電池を交換してください。

■ フラッシュ撮影距離

フィルム感度によってフラッシュ光の届く距離が異なります。暗いところではフラッシュ撮影距離に注意して撮影してください。

フィルム感度	フラッシュ撮影距離
ISO 100	1.2m～2.0m
ISO 200	1.2m～3.0m
ISO 400	1.2m～4.0m
ISO 800	1.2m～6.0m

(カラーネガフィルム使用時)

8 赤目軽減撮影

シャッターボタンを半押しすると、赤目軽減ランプが点灯します。
約1秒間シャッターボタンを半押しした後、シャッターを切ります。

■ 赤目現象について

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減撮影すると共に、
● 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
● なるべく近づいて撮影する
などするとより効果的です。

FUJIFILM

CLEAR SHOT

使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

J

202B10432291

主な仕様

使用フィルム	135(35mm)ロールネガフィルム(ISO 100、200、400、800)
画面サイズ	24mm×36mm
レンズ	フジノンレンズ　2群2枚構成　f＝33mm　1：8
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー　0.67倍
距離調節	1.2m～∞
シャッター	機械式シャッター(1/100秒固定)
露光調節	固定
フィルム装てん	オートローディング方式
フィルム給送	電動式　プレワインディング方式　自動巻き上げ　自動巻き戻し　途中巻き戻し可能(途中巻き戻しボタンによる)
フラッシュ	内蔵フラッシュ(フラッシュスイッチによるON ／ OFF切り替え)　充電時間：約6秒 フラッシュ発光OKランプ　赤目軽減機能付き(シャッターボタン半押しでLEDによるプリ照射)
フィルムカウンター	逆算式
電源	単4形アルカリ乾電池　2本
その他	レンズカバー閉でシャッター安全ロックおよび充電安全ロック
大きさ	100.0mm×78.0mm×39.5mm(突起部除く)
質量(重さ)	120g(電池別)

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

このようなときは

■ 操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
シャッターが切れない。	① レンズカバーが閉まっていませんか。 ② フィルムは装てんされていますか。 ③ フィルムカウンターに“Ⓔ”が表示されていませんか。 ④ プレワインド中、フィルム巻き上げ中に電池を外しませんでしたか。	① レンズカバーを開けてください。 ② 未使用のフィルムを正しく装てんしてください。 ③ 裏ぶたを開け、フィルムの状態を確認します。 ● 撮影済みのフィルムが入っている場合は、フィルムを取り出して、未使用のフィルムを装てんしてください。 ● フィルムの先端がFILM TIPマークまで引き出されていない、あるいはFILM TIPマークよりも引き出しすぎている場合は、フィルムの先端がFILM TIPマークに合うようにフィルムの長さを調整し、正しく装てんし直してください。 ④ 故障の原因となりますので、プレワインド中、フィルム巻き上げ中に電池を外さないでください。
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、フィルムカウンターが“Ⓔ”から進まない。	● フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出していますか。あるいはFILM TIPマークよりも引き出しすぎていませんか。	● フィルムの先端がFILM TIPマークに合うようにフィルムの長さを調整し、正しく装てんし直してください。
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、フィルムが巻き戻され、“Ⓔ”が表示される。	● フィルムを取り出すときに、モーターが止まり“Ⓔ”が表示される前に裏ぶたを開けませんでしたか。	● フィルムを取り出すときには、必ずモーターが止まり“Ⓔ”が表示されたことを確認してから裏ぶたを開けてください。
プレワインド中、フィルムの規定枚数までいかずに途中で止まってしまった。	● 電池容量がなくなっていませんか。	● 新しい電池に交換してください。ただし、電池を交換してもプレワインドしないことがあり、規定枚数の撮影ができないことがあります。
途中でフィルムが巻き戻されてしまった。	● フィルムが入っているときに裏ぶた開放つまみを動かしませんでしたか。	● フィルムが入っているときには、裏ぶた開放つまみを動かさないようにご注意ください。
フィルムを巻き戻している途中で止まってしまった。	● 電池容量がなくなっていませんか。	● 新しい電池に交換してください。電池交換後、再度◉◂◂ボタンを押してください。
フィルムを巻き戻し終わっても、フィルムカウンターが“Ⓔ”にならない。	● スプロケットに触りませんでしたか。 ● 撮影中のフィルムを最後まで巻き戻しせずに取り出しませんでしたか。	● スプロケットを右に回して、フィルムカウンターを“Ⓔ”に戻してください。
フラッシュが発光しない。	① フラッシュスイッチを⚡ONに合わせていますか？ ② フラッシュ発光OKランプが点灯したのを確認してからシャッターを切りましたか。 ③ 電池が正しく入っていますか。	① フラッシュスイッチを⚡ONに合わせてください。 ② フラッシュ発光OKランプが点灯する前にシャッターを切ると、フラッシュは発光しません。フラッシュ発光OKランプが点灯したのを確認してからシャッターを切ってください。 ③ 単4形アルカリ乾電池2本を正しい向きに入れてください。

■プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
画面がぼんやりしている。	① 1.2mより近づいて撮影しませんでしたか。 ② レンズが汚れていませんか。 ③ カメラのブレではありませんか。	① 1.2m以上離れて撮影してください。 ② レンズをきれいにしてください。 ③ カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。
画面が暗い。	① 暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。 ② フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。 ③ 窓際などの逆光撮影ではありませんでしたか。	① 規定のフラッシュ撮影距離内で撮影してください。 ② フラッシュ発光部に指を掛けないでください。 ③ フラッシュ撮影してください。

製品保証規定

1. 保証の内容
   ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、保証書を添えてご購入店または富士フイルムサービスステーションにお届けください。無料で修理いたします。
   なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましては、通常の輸送方法と異なる方法をとった場合(定期便以外を使用した場合)は一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記1. の保証規定は適用されません(修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします)。
   イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
   ロ. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項を訂正された場合。
   ハ. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
   ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
   ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
   ヘ. 本体に付帯している付属品類(ストラップなど)および消耗品(電池類など)。
   ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
   チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■ ご注意
1. 本保証書は前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示についてご不明の点は、使用説明書、カタログなどに記載されている弊社カメラ事業部 営業部かお近くの富士フイルム営業所や富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

安全にご使用いただくために

● この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
● 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
● この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警　告	⚠注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警　告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注　意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。
(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ(自動車のトランクなど)に放置しないでください。
2. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス(タンスの中のナフタリン、しょうのう他)・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
3. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
4. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
5. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
6. フィルム室にホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。ブロアーブラシで払って清掃してください。
7. フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
8. このカメラの使用温度範囲は－5℃～＋40℃です。
9. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

FUJIFILM　保証書

製品名 CLEAR SHOT U　ご購入年月日　　年　　月　　日

お名前　　　　　様　TEL

ご住所

店名印

Printed in Indonesia　FGS-305107-Ci-02

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、下記に記載の弊社カメラ事業部 営業部かお近くの富士フイルム営業所や富士フイルムサービスステーションをご利用ください。

●無料修理
故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊ 詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

●有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能
浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは2,500円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障
海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外現地法人または富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外現地法人、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

FUJIFILM　富士写真光機株式会社

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…
富士写真光機株式会社 カメラ事業部 営業部　〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1丁目324番地　TEL(048)668-2236

●光機製品のお問い合わせはこちらでも承ります
富士写真フイルム株式会社 札幌営業所内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL(011)218-5575
富士写真フイルム株式会社 仙台営業所内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL(022)216-6960
富士写真フイルム株式会社 東京販売部内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30　TEL(03)3406-2387
富士写真フイルム株式会社 名古屋営業所内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル　TEL(052)203-5262
富士写真フイルム株式会社 大阪支社内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11　TEL(06)6205-6421
富士写真フイルム株式会社 広島営業所内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL(082)250-0755
富士写真フイルム株式会社 福岡営業所内(富士写真光機お問い合わせ電話)　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL(092)281-0255

●お買い上げ製品の修理の受付は…
札　幌：富士フイルムサービスステーション　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL(011)222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL(022)265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション　〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル　TEL(03)3436-1315
富士フォトサロン・東京　〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ　TEL(03)3571-9411
名古屋：富士フイルムサービスステーション　〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19　TEL(052)202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル　TEL(06)6260-0915
富士フォトサロン・大阪　〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル　TEL(06)6346-0222
広　島：富士フイルムサービスステーション　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL(082)256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL(092)281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京、名古屋、大阪：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日(祝日、年末年始、夏期休暇以外)は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター (月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00) TEL(03)3406-2981
富士フイルム ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp/